

各 位

上場会社名 日本トムソン株式会社
代表者 代表取締役社長 宮地茂樹
(コード番号 6480 東証プライム市場)
問合せ先責任者 経理部長 小島孝則
(TEL. 03-3448-5824)

営業外収益(為替差益)、特別損失、過年度法人税等の計上に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第4四半期連結会計期間(2022年1月1日～2022年3月31日)において、下記の通り営業外収益(為替差益)、特別損失、過年度法人税等を計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益(為替差益)の計上について

2022年3月期第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)において504百万円の為替差益を営業外収益に計上いたしましたが、その後の為替相場の円安進行により2022年3月期第4四半期会計期間(2022年1月1日～2022年3月31日)において714百万円の為替差益を計上いたしました。この結果、2022年3月期第4四半期連結累計期間(2021年4月1日～2022年3月31日)において、為替差益1,219百万円を営業外収益に計上しております。これは主として、当社グループが保有する外貨建債権債務の決済および期末(2022年3月末日)時点の為替レートによる評価替えにより発生したものであります。

2. 特別損失の計上について

(1) 減損損失(連結決算)について

当社の連結子会社である優必勝(上海)精密軸承製造有限公司および優必勝(蘇州)軸承有限公司の業績が、当初想定していた計画を下回って推移したことから、「固定資産の減損に関する会計基準」に基づき、のれんの全額を減損処理いたしました。また、同社の直近の業績動向を踏まえた将来の回収可能性を慎重に検討した結果、同社が保有する固定資産(建物・機械設備等)の帳簿価額を回収可能価額まで減額することといたしました。上記を合わせまして、減損損失1,529百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 関係会社出資金評価損および関係会社貸倒引当金繰入額(個別決算)について

当社の連結子会社である優必勝(上海)精密軸承製造有限公司および優必勝(蘇州)軸承有限公司に対する出資金について、同社の経営成績および財政状態を勘案した結果、関係会社出資金評価損2,004百万円を特別損失に計上いたしました。

また、同社へは貸付を行っておりますが、同社の経営成績および財政状態を勘案した結果、1,873百万円を関係会社貸倒引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。

3. 過年度法人税等の計上について

当社の連結子会社である IKO THOMPSON VIETNAM CO., LTD. は、当社との取引に関し、ベトナム税務当局による移転価格税制等に係る税務調査を受けており、当社は現時点での発生可能性が高いと予想される追加納付見込額271百万円を、当第4四半期連結決算において過年度法人税等として計上いたしました。

4. 業績に与える影響

上記の計上による業績への影響につきましては、本日(2022年5月12日付)公表いたしました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。なお、関係会社出資金評価損および関係会社貸倒引当金繰入額は、連結決算上は消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以 上